

チャイナ・マーケット・インサイト

CHINA MARKET INSIGHT

中国の市場・業界・商習慣を徹底調査&研究

巻頭特集

二線級都市へ昇進、急成長続く 「貴州省・貴陽」

“最貧の省都”が中国ビッグデータ基地へ華麗なる転身

小売・流通現場 中国コンビニ最前線レポート

急速成長の貴州省で 地場系と全国系が最新技術を用い激突

貴州省の省都・貴陽のコンビニ事情

業界研究

スマート物流の発展を牽引する 中国eコマース

EC大手4社のスマート物流発展状況

都市別マーケティングレポート

下剤上の方程式~ファイナル

自社所有という戦い方 持たざるものの戦い方

経済急成長とともに消費現場のアップグレードも急ピッチに進む貴陽
(写真:貴陽「逸天城購物中心」モール)

CHINA MARKET INSIGHT



2 巻頭特集 **二線級都市へ昇進、急成長続く 「貴州省・貴陽」**

“最貧の省都”が中国ビッグデータ基地へ華麗なる転身

中国コンビニ最前線レポート

- 22 小売・流通現場 **急速成長の貴州省で
地場系と全国系が最新技術を用い激突**
貴州省の省都・貴陽のコンビニ事情

- 24 業界研究 **スマート物流の発展を牽引する中国eコマース**
EC大手4社のスマート物流発展状況

都市別マーケティングレポート

- 34 都市別調査 **下剤上の方程式～フィナーレ**
自社所有という戦い方 持たざるものの戦い方

- 36 編集後記

巻頭特集

二線級都市へ昇進、急成長続く「貴州省・貴陽」

「最貧の省都」が中国ビッグデータ基地へ華麗なる転身



「天無三日晴、地無三里平、人無三分銀（天気は三日と晴れることなく、土地は三里も平地がなく、人は三分の銀も持たない）」。中国で貴州省と言えば、これが人々の一般的な印象だった。



貴州で最も有名な観光スポット「黄果树瀑布」

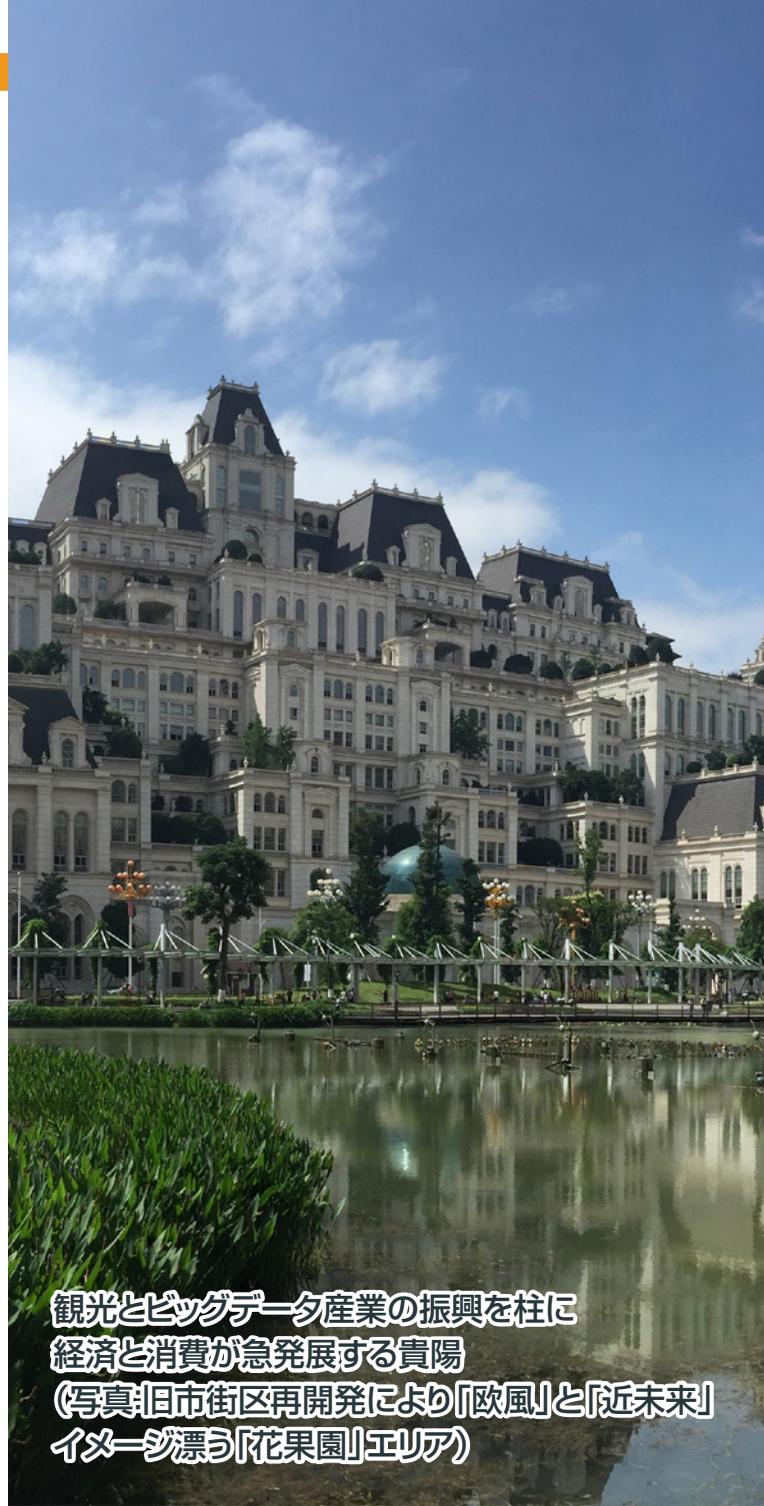
かつて貴州省は中国で最も貧しい省として知られていた。その貴州がここ数年、ビッグデータ産業の発展に力を入れている。政府の貧困扶助政策の恩恵もあり、貴州の経済は飛躍的な成長を遂げつつある。

2018年、貴州省のGDPは1万4806億元で、前年比9.1%の成長を記録。中国全土で経済成長率の最も高い省となった。省都・貴陽市の18年のGDPは3798億元で、前年比9.9%増



貴陽市のGDP成長率は6年連続で全国ナンバーワン

加。6年連続、全国で成長率の最も高い省都となった。



観光とビッグデータ産業の振興を柱に
経済と消費が急発展する貴陽
(写真旧市街区再開発により「欧風」と「近未来」
イメージ漂う「花果園」エリア)

フォーブス中国が公表した「2018 中国大陸の最良商業都市ランキング」においても、貴陽は全国で第27位にランクイン。17年比で38位もランクを上げた。西南地区では重慶、成都、西安に次ぐ第4位だ。

アメリカのシンクタンク「ミルケン研究所」が公表した「2018 中国優秀都市ランキング」でも貴陽は深圳、重慶、天津、鄭州に次ぐ第5位。3年連続のランクインとなっている。

貴州の経済発展を牽引する
ビッグデータ産業

貴州省は、ビッグデータの発展を産業イノベーションの重要戦略の一つと捉えている。省都・貴陽市には、国家級のビッグデータ産業発展集積エリアとして、ビッグデータ産業エコモデル基地やデジタル物流産業モデル基地など10のビッグデータ産業集積区が建設され、大規模な産業エコシステムを構築しつつある。

全国初のビッグデータ取引所である「貴陽大数据交易所」は、12の省に支部を設置。225の優良なデータソースに接続し、取引可能な



貴陽市で開催された「中国国際ビッグデータ産業博覧会」

データ商品は4000を超える。貴陽では、2015年から4年連続で「中国国際ビッグデータ産業博覧会」を開催。世界500強企業のインテル、エプソン、富士康（フォックスコン）も参加した。



全国初のビッグデータ取引所
「貴陽大数据交易所」

中国ビッグデータ分野のトップ企業である中電科（CECTC）、アリババ、ファーウェイ、京東（JDドットコム）、奇虎360、科大訊飛（アイフライテック）のほか、貴州の満帮集団、朗瑪信息、東方世紀、易鯨捷などの優良企業が貴陽に本拠地を置いている。

貴陽市ビッグデータ管理委員会の統計によると、2018年の貴陽市のビッグデータ企業数は5000社を超え、一定規模以上の企業も220社に達している。ビッグデータ企業の主要営業収入は1000億元を突破し、17年比で22.4%成長。



2017年の貴陽のビッグデータ企業の納税額は110億元に達し、前年比20%増、経済成長への貢献率も33%となった。ビッグデータは貴陽の経済及び社会発展の原動力となっている。

「中共貴陽市委貴陽市人民政府

『中国のシリコンバレー』建設加速に関する実施意見』によると、貴陽市では2020年までにEB（エクサバイト）以上の巨大データ保存力を実現。5つの国家級モデル地区も基本的に完成する。

さらに、核心的競争力と影響力を備えたビッグデータのブランド企業10社以上を育成、1000以上のビッグデータ応用領域（シーン）を創出し、ビッグデータ関連企業1万社の招致を目指す計画だ。

貴陽市は中国の「シリコンバレー」として、中国のビッグデータ関連イノベーションの中心地となっていくと期待されている。

「2019年全市ビッグデータ発展業務要点」では、19年にビッグデータ企業の主要業務収入1200億元超を実現し、18年比20%の成長を遂げることが目標に掲げられている。

高速鉄道が続々と開通 西南地域の交通ハブに

地理の側面から見てみよう。西南5省の中心に位置する貴陽。

「鉄道『十三五』発展計画」により「八縦八横」に高速鉄道網が張り巡らされる中、貴陽市はその重要なハブとなりつつある。交通インフラの建設、特に高速鉄道（新幹線）の開

通により、貴陽市はまさに羽を得たかのような急発展を開始した。



高速鉄道のハブ駅「貴陽北駅」

2014年12月、貴広（貴陽—広州間）高速鉄道が正式に開通。貴州省はそれまでの高速鉄道「ゼロ」状態を脱し、貴陽から広州まで僅か4時間で行けるようになった。

2016年12月には滬昆（上海—昆明）高速鉄道が開通。これは上海、杭州、南昌、長沙、貴陽、昆明の6つの省都及び直轄市を經由。東西に最も長く、通過する省の最も多い高速鉄道だ。滬昆高速鉄道の開通は、貴陽と他の大都市との距離を大幅に短縮し、発展の大きな契機となった。

2017年12月には西成高速鉄道が開通。これは「八縦八横」の京昆（北京—昆明）ルートの一部でもあり、華北、西北、西南地区を結ぶ重要な路線だ。

西成高速鉄道の全線開通により、西安、昆明、貴陽、蘭州など西部の中心的都市の「4時間交通圏」が確立された。

2019年に開通が予定されている成貴高鉄は、西部大開発のシンボリックプロジェクトの一つ。世界初の山岳地帯を走る高速鉄道であり、開通後は貴陽と成都が3時間で結ばれる。

2022年に開通予定の貴南高鉄は、橋とトンネルの割合が最も多い高速鉄道だ。開通すると貴陽と



2014年12月、貴広（貴陽—広州間）高速鉄道が正式に開通

広西・南寧が2時間弱で結ばれる。現在この区間は最短で5時間17分もかかる。

2018年末に開通した渝貴鉄道により、貴陽と重慶もこれまでの10時間が2時間にまで短縮されている。これは貴陽と重慶だけでなく、西南、西北地方と珠江デルタ、香港・マカオとのヒトやモノの流れを大きく改善する重要な鉄道ルートだ。

今後、渝貴（重慶・貴陽）高速鉄道も開通が予定され、両都市の移動はさらに1時間短縮される見込みだ。

高速道路の建設に関して、2013年に貴陽市は470億元を投入し、全長約374キロメートルの「三環十六射」ネットワークを構築している。これは大都市化の大きな基盤となった。

現在は「五環十八射」へのアップグレードを目指し、貴陽市と周辺の主な衛星都市や観光エリア、産業ベルトを結ぶ交通網の構築が進められている。将来的には人口1000万人都市へと発展する可能性も秘めている。

貴陽龍洞堡国際空港の旅客輸送量は、2018年に2000万人の万台を突破。乗り入れる航空会社も49社に達し、すでに240便が開通している。



貴陽龍洞堡国際空港

そのうち国内線が220便、国際線が20便で、18年にはモスクワ線、サンフランシスコ線、ロサンゼルス線なども開通した。19年にはさらに大陸間路線4便と、アジアの重要都市とを結ぶ3〜5路線が開通予定だ。

2018年12月には、貴陽市の地下鉄1号線も開通。19年3月1日に正式運営を開始している。2号線は現在工事中で20年の開通を目指しており、3号線も間もなく着工を予定している。

高速道路、高速鉄道、都市道路、地下鉄、空港などの建設が進み、貴陽市では利便性の高い現代交通システムが整いつつある。



高速道路や地下鉄など、貴陽市では利便性の高い現代交通システムが整備されつつある

「十三五（第十三次五ヶ年計画）」期間中、貴陽市は全国主要都市との「2〜8時間交通通勤圏」の構築を目指している。将来的には珠江デルタ、長江デルタ、京津冀（北京、天津、河北省など）からの交通の要所として成長を遂げる見込みだ。

「爽爽的貴陽（爽やか貴陽）」観光業による経済発展を推進

貴陽のもう一つの顔は「観光都市」としての一面だ。気候が良く、風光明媚な貴陽は「爽爽的貴陽（爽やか貴陽）」と称される。

夏の平均気温が22.4度と涼しいことから避暑地として知られ、4年連続で中国の「最優秀避暑観光都市」に選ばれたほか、2018年には世界避暑地ランキングでも9位にランクイン。同時に「最優秀エコツーリズム目的地」、2018年度「中

国国家旅游「最優秀旅行都市にも選ばれている。



避暑地として中国で有名な貴陽（写真：貴陽市内の影霊山公園）。

高速鉄道の開通により、貴陽の観光業の発展も加速。18年に貴陽市を訪れた国内外からの旅行者の数は1.9億人で、前年比26.7%増加。旅行関連総収入は2456億元で、前年比31%増となった。商業の発展も忘れてはならない。すでに二線級都市へのアップグレードを果たした貴陽市は、18年の社会消費品小売総額が1299億元に達し、全国主要都市ランキングで30位前後に位置している。

主要な商圏は旧市街区の雲岩区と南明区。貴陽国家高新区に位置する観山湖区も最近発展の目覚ましいエリアだ。貴陽で最大規模の再



2003年に運営を開始した貴陽最大規模のコンビニチェーン「凱輝」

中国コンビニ最前線レポート

急速成長の貴州省で 地場系と全国系が 最新技術を用い激突 貴州省の省都・貴陽のコンビニ事情

つい数年前までは「中国で最も貧しい省」と言われていた貴州省。近年は中央政府の政策に後押しされ、ビッグデータ産業の中心地として急速に経済が発展している。省都・貴陽の2017年のGDPは3538億元で、前年比11.3%成長。全国の省都でトップの成長率だ。都市部の可処分所得は年3万円を突破。一方、消費支出が可処分所得の8割を占めるなど、消費意欲も旺盛だ。

貴陽市内のコンビニの普及も著しい。凱輝、時間、老友記、熱石、YOYO、勇恵、24客などの地場系が主体だが、京東便利店、天猫小店、蘇寧小店、国安社区など全国ブランドも進出。西南地区初の無人コンビニも登場し、パパマシヨップ（零細店）のコンビニ化も進む。



地場系コンビニチェーン「勇惠便利」

地場系の凱輝は、03年に運営を開始した貴陽最大規模のコンビニチェーン。中国チェーン経営協会が公



スマート物流が目目され、中国物流テクノロジー発展元年となった2018年

業界研究

スマート物流の発展を 牽引する中国eコマース

EC大手4社のスマート物流発展状況

2018年は中国の物流テクノロジー発展元年とも言える1年だった。この年、「スマート物流」が業界内外から幅広い注目を集めた。

倉庫のスマート仕訳けロボットや幹線輸送における自動運転車両、宅配を担う無人車やドローンなどは、それぞれが物流の各段階を大きく変え、さらなる応用を生み出した。コスト削減を実現するだけでなく、作業効率の最大化も実現した。

2019年にはあらゆる業界でデジタル化やスマート化が加速する中、中国の物流業界も労働集約型から資本・技術集約型へと転換を遂げつつある。

ECが中国物流の発展を後押し

スマート物流システムは物流全体のコントロールセンター（※中国では「物流大脳」と称される）、情報

伝達システム、実地作業に分けられる。

現在、物流大脳はデジタル化の発展段階にあり、プログラム制御化とスマート化が進行中だ。

情報伝達システムは「インターネット+（プラス）」の段階にあり、IoT（モノのインターネット）やサイバーフィジカルシステム（CPS）の方向に進化を遂げつつある。



中国の物流業界も労働集約型から資本・技術集約型へと転換



EC(電子商取引)が中国スマート物流発展の牽引役を担う

実地作業面では自動化とロボット化が進み、現在はフレキシブルオートメーション技術や無人設備、スマートハードウェアシステムの導入が進んでいる。

(※フレキシブルオートメーション技術は、AI(人工知能)テクノロジーを利用し、大量のロボットに倉庫内で共同作業をさせ、部署化、拡大、効率化を図る全方位型倉庫自動化ソリューションのこと。)

スマート物流の応用面では、電子商取引(EC)物流がその発展の最も速い領域だ。EC大手のアリババ、京東(JDドットコム)、蘇寧、唯品会など各社は、ここ数年物流部門への投資を増やし続けており、中国のスマート物流発展の牽引役を果たしている。

アリババ

アリババは2013年5月に銀泰、復星、富春(FORCHN)など小売投資グループのほか、順豊、申通、圓通、中通、韻達などの物流大手企業と提携し、「菜鸟網絡科技有限公司」を設立。菜鸟(Cainiao)のスマート物流の屋台骨の構築を開始した。

自社構築、共同構築、提携、再編成など様々な手法により、オープン型の共有物流プラットフォームを構築。EC企業や物流企業、倉庫企業、第三者物流サービス企業、サプライチェーンサービス企業などへのスマート物流サービス提供を目指している。

2017年9月には、アリババが菜鸟網絡に53億元の追加投資を実施。さらに5年間で1000億元を投資する計画だ。菜鸟網絡は、2018年の世界スマート物流サミットの席上で、物流IoT戦略を全面的に推進すると宣言。同時に物流IoTをベースにした世界初の「未来園区」を江蘇省・無錫に建設と発表した。

この「未来園区」の倉庫には、大量の自動仕分けラインが設置され、AGV(無人搬送車)ロボットやロボットアームなどの技術が導入され

ている。保管から出庫、分包、配送票の貼付から仕訳まで、全て人手を経ずに行うことが可能で、倉庫及び仕訳作業の完全スマート化を実現している。



菜鸟がAGV(無人搬送車)ロボットを大量に導入



物流IoTをベースにした世界初の「未来園区」

従来型の物流や製造業と比べ、EC物流のシーンはより多岐にわたり、自動化の際に処理するSKUの数も多い。このため、これまでのソリューションではEC物流に対応することが難しかった。

菜鸟はディープラーニング、計算機能の強化、3Dセンサー技術などを活用。ロボットの視覚自動化などにより、ロボットアームによる自動選別や自動測量を実現し、仕分けの効率を大幅に向上させた。

2019年1月22日には、江蘇省南京で全国初となるロボット仕分けセンターの稼働を開始。ここには菜鸟が研究開発したフレキシブル・オートメーションシステムが導入されている。



菜鸟のロボット仕分けシステム

自社所有という戦い方 持たざるものの戦い方



いる。商品の積み下ろしロボットや3D測量機、データ自動マッチングシステムなどが導入されており、考拉の出荷適時率を99.97%まで引き上げた。配達遅延率はわずか0.03%で、業界平均の0.05%を下回っている。

一点突破を狙う

「充電5分で通話2時間」。OPPOの名を幅広い消費者に知らしめた、15年の広告キャッチフレーズだ。三線・四線級都市の分厚いリアル店舗網を強みにシェアを拡大したOPPOだが、開発・

生産面では当初、技術やリソースに恵まれていたわけではなかった。複数のシリーズやモデルを同時にリリースし、各ターゲット客層を広く網羅する手法で市場シェアを拡大させる中国系大手ライバルに対抗するため、同社はあえて主力モデル1種だけに全社のリソースを集中して投入し、徹底的な差別化を図った。

前述のフレーズはその集約ともいえる。OPPOは一貫して若者を主要ターゲットと位置づけ、機能も価格帯も若者ニーズを強く意識する製品開発を進めた。若者ユーザーが重視するカメラ機能や高速充電機能には、投資を惜しまない。同社の本丸となる三線・四線級都市や郷鎮では通信状態が悪く、待ち時間の電力消費が馬鹿にならない。高速充電機能はそうした地区に住む当時のユーザーにとって、喉から手が出るほど求める機能だった。

また、自撮りを好む若者ニーズに応えるべく、カメラ機能を大幅に強化。画素数は17年時点で既に一眼レフに肉薄するレベルに達しており、さらに人物専用の背景除去システムも長年の研究開発を経て投入し、スマホ撮影機能領域での強力な優位性を獲得した。

製品ラインをひとつに絞り込んだことは、全広告予算を新製品の宣伝に注ぎ込めるという利点にも結びついた。若者に人気のアイドルたちを起用し、バス停、駅、空港、ショッピングモールまで、至るところで大型屋外広告を掲出し、量的迫力で存在感を発揮する。また、若者に人気のバラエティ番組にも重点的にスポンサー広告を投入してきた。



広告の物量でライバルも消費者も圧倒するOPPO

こうした一点突破の戦い方により、OPPOは次第にファッションナブルなブランドとして認知され、一線級都市への逆進出も果たす。

天猫と京東という巨大モールを向こうに回し、店舗誘致ではなく自営店舗で勝利をつかんだ考拉。三線・四線級都市のリアル店舗網と一機種へのリソース集中投下で、一線級都市のシェアを押さえていったOPPO。両者の勝利からは、他社の成功例に惑わされることなく自らの戦い方を貫く、ひたむきながらクールな姿勢が見えてくる。

自分だけの“数式”をしかと持つこと——結局はそこに尽きるのかもしれない。

(分析連携：BizCHINA編集長 石原達也)

※1: iiMedia Research「2016-17 中国越境EC市場研究報告」

※2: Canalys社7月25日付レポート



蔣佳玲

キャストコンサルティング
コンサルタント

1996年台湾大学政治学部国際関係学科卒業、97年米シラキュース大学広報修士課程終了。その後、台湾地区大手PRエージェンシー、台北101ショッピングモール、米系リアル大手メーカー等を経て、05年からキャストコンサルティングのマーケティングコンサルタント。

キャストコンサルティング(上海) 加施徳諮詢(上海)

■上海市浦東新区陸家嘴環路1000号
恒生銀行大廈5樓
☎021-6321-3000
🌐http://www.cast-marketing.com/
✉service@cast-marketing.com

キャストコンサルティング

下剋上の方程式

ファイナルレ

都市別マーケティングレポート



愚直な本物志向で消費者の心をつかんだ考拉(杭州のオフライン体験店にて)

キャスト中国ビジネス「中国マーケティングEC会員コース」
会報誌『チャイナ・マーケット・インサイト』毎月発行

ご希望の方に会報誌サンプルを無料で送付。
お申し込みは下記サイトから。

<http://www.cast-marketing.com>

徹底した自前主義と現場現物主義で中国越境ECプラットフォームの頂点を制した網易考拉(※1)、地方のリアル店舗ネットワークを強みに中国スマートフォン2番手となったOPPO(※2)など、一般にイメージされる中国ビジネスの手法とは、ある種真逆の戦い方でのし上がるブランドが現れている。前回につづき、両者の手法をウォッチしてみよう。

物流品質にも強い

考拉の自前主義は商品や店舗だけでなく、物流にもおよぶ。他の越境EC企業が通例ひとつの都市の保税倉庫を重点的に利用しているのに対し、考拉は杭州、寧波、鄭州、重慶などの各都市に保税倉庫を設置している。これにより消費

者の所在地に応じて倉庫を選び、商品を配送できるようになった。

物流やアフターサービスは、消費者が越境ECプラットフォームを選ぶ際の重要な基準にもなる。ともすれば固定コストの増加要因となる物流インフラの自社所有だが、考拉は品質コントロールを掌握できるといふ強みに転化させた。

まず消費者の不快な体験を減らすべく、納品時の全件検査を実施。作業担当者が商品1件ごとのパッケージの状態や品質保持期限などについて多角的に検査し、合格品のみを倉庫に納めている。夏の高温による商品の変質を防ぐため、16年6月には5000㎡を超える常温倉庫も設置、粉ミルクなど温湿度に対する要求の厳しい商品の品質管理を強化した。公表データによると、ユーザーからの破損のクレーム率は0.08%で、業界平均の0.3%を大きく下回っている。

倉庫オートメーション化も進んで

編集後記

今回の巻頭特集で取り上げた貴州省・貴陽。思い返せば、初めて貴陽の地に足を踏み入れたのは2008年。当時携わっていた人材ビジネスの関係で、貴州省第2の都市である遵義に職業訓練所を設けるかどうか検討していました。遵義にはまだ空港がなく、重慶か貴陽経由で現地に赴いていたのですが、その際に立ち寄ったのが最初です。

急成長する中国沿岸部を尻目に、「最も貧しい省」とされていた貴州省。これはあくまでもGDPの値によるレッテルではあるのですが、省全体の面積の9割以上が山岳地帯で、高速道路の建設も緒についたばかりの“陸の孤島”。そうした中、貴陽市内では街のシンボリック建造物の「甲秀楼」周辺は高層ビルも建ち並び、都市化の様相を帯びていましたが、全体的には上海の10年どころか20年も遅れを取っているような様子でした。

その貴陽が、気付いたらここ2、3年で、中国内外から脚光を浴びる対象に。13年から6年連続でGDP成長率が全国の省都でナンバーワンです。もちろん分母が小さいからそうなるだろうと侮っていたのですが、実はそれを可能にした産業振興が繰り返されてきました。それが「ビッグデータ」です。

標高1000メートルで、夏も涼しい「避暑地」として中国では有名な貴陽。アジア最大級の「黄果树瀑布」など観光資源も豊富で、観光振興とともに内陸都市の経済発展のエンジンとして着目されたのがビッグデータ産業でした。膨大な数のサーバーを動かすのに最も必要なのが電力。安価に電力を提供できるだけでなく、夏にはサーバーを冷やすための冷房も不要になるなど、気候条件も揃っていました。

アップルをはじめ、国内外の主要IT・ネット企業が相次いでデータセンターを設置するなど多くの資金が注ぎ込まれました。こうしたヒトとカネの流れを背景に、現地の消費市場も活況となり、続々と商業施設が新規オープンしています。

改革開放以来、多くの都市開発を手がけた中国ですが、これまではどちらかというと北京や上海、西安など元々歴史ある都市のアップグレードでした。それが意味、「更地」からの新興都市開発となった貴陽。これまでの経験を結集させた街づくりにも注目しました。(亀)



大亀浩介

キャストコンサルティング取締役

1996年早稲田大学政治経済学部卒業。台湾のIT企業などを経て、2004年弁護士法人キャスト入所。2005年キャストコンサルティング入社、2007年取締役。会員制「キャスト中国ビジネス」事業を立ち上げたほか、在中国日系企業の事業戦略・運営の支援や中国マーケティングのコンサルティングを行う。著書に『中国ネットビジネス成功へのポイント』（日本経済新聞出版社）のほか、日経MJ（流通新聞）でコラム「中国&アジア商売見聞録」（2013～18年掲載）、「月刊コンビニ」で中国のコンビニ事情を執筆。講演多数。



蒋佳玲

キャストコンサルティング(上海)有限公司
コンサルタント

1996年台湾大学政治学部国際関係学科卒業。
中国(台湾含む)でのマーケティング経験を20年以上有し、実務経験に基づいた日系企業の中国進出及びマーケティング・販売・プロモーション戦略と実行のコンサルティング業務を行う。
現在、中国全土をカバーする日本語ビジネス情報誌「WheneverBizCHINA」に都市別マーケティングレポートを連載中。

◆ 著作権

本資料の著作権は出典が明記されているものを除き、原則、キャストコンサルティング株式会社に帰属します。いかなる目的であれ、本資料の一部または全部について、無断で、いかなる方法においても複写、複製、引用、転載、翻訳、貸与等を行うことを禁止します。

◆ 免責

本資料記載の情報は、キャストコンサルティング株式会社が信頼できると考える各方面から取得しておりますが、その内容の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。キャストコンサルティング株式会社は当該情報に起因して発生した損害については、その内容如何にかかわらずいっさい責任を負いません。この情報は執筆時の情報に基づいておりますので、今後登場する法令、司法解釈等により、記述内容と異なる結果が導かれる可能性があることに十分ご注意ください。また、本資料に記載された内容は予告無しに変更されることもあります。

「キャスト中国ビジネス」中国マーケティング・EC会員コース

中国の市場・業界・商習慣を徹底調査&研究

チャイナ・マーケット・インサイト News Letter 2019 April (vol.63) 2019年4月発行

発行:キャストコンサルティング株式会社

〒105-6234 東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー34階

TEL:03-5405-7860 FAX:03-5405-3308 メール:service@cast-marketing.com

© 2019 CAST Consulting Co., Ltd. All Rights Reserved

中国マーケティング・EC会員コース

中国市場徹底攻略! 専門性の高い情報とコンサルティングの融合による、スピーディで精緻なビジネスサポートを提供いたします。

当会員コースにご入会いただくと…

1 中国現地生情報をリアルタイムにレポート!
会報誌「チャイナ・マーケット・インサイト」が毎月届く!!

毎月20日発行、ウェブコンテンツを冊子形式に編集し、お手元に郵送いたします。(1・2月と7・8月は合併号となります)



2 個別調査案件レベルの量および質のコンテンツほか
精度の高い情報の数々が、24時間オンラインで閲覧可能!!

クライアント様から、個別に受注する調査案件と同等レベルのクオリティです。

3 コンサルタントがビジネス相談に対応!! (メール・TEL)

中国での調査・販売に関する各種相談に電話またはメールでコンサルタントが対応いたします。
また、業界・市場の実態や販売店リストなども、デスクリサーチ (ネット上での情報収集に限る) の範囲内であれば会費内で対応可。
(内容によっては、別途お見積もりを提示する場合がございます)



この内容で、わずか月々50,000円/4,000元 (税別)!!

ご契約は日本or中国いずれも可能。ご契約期間は1年単位で承っております。
・その他ご契約条件、利用規約等については、弊社ホームページご入会案内をご覧ください。

「それが知りたかった!」にお応えする、キャスト独自のコンテンツラインナップ

中国マーケティング専門のコンサルタントが現地視察・取材を敢行!

- ・中国沿岸部から内陸の三・四線級都市まで網羅した「都市別レポート」
- ・各都市の80后・90後の家庭を訪問調査し消費動向を見据える「消費者研究」
- ・自動車、流通、食品など各業界のリーディング企業から読み解く「業界動向」
- ・中国で活躍する市場部マネージャー級人材への取材から把握する「実務の視点」
- ・統計データから中国市場・業界のいまと今後を知る「数字で見る中国」など

中国の市場・消費者・流通・小売・物流・都市・業界などの情報が盛りだくさん!!

マーケティングレポート 一例

- ・香港系大手ドラッグストア「ワトソンズ (屈臣氏)」徹底研究
- ・外資系大手スーパー「カルフルール」徹底研究
- ・大潤発に学ぶ中国市場攻略の方程式
- ・中国ネット通販最大手「淘宝」トップ店舗徹底研究
- ・ブルガリとセリーヌを徹底分析! 中国奢侈品市場
- ・台湾系の85度C、中国で躍進のポイント など

都市別レポート 一例

上海・北京・広州・成都・重慶・瀋陽・青島・ハルビン・杭州・寧波・蘇州・南京・天津・長沙・無錫・湖州・西安・武漢・鄭州・合肥・温州 など
掲載都市は随時更新中!!



キャストコンサルティング株式会社 会員サービス事務局 TEL: 03-5405-7860

MAIL: service@cast-marketing.com 〒105-6234 東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー34階